

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 (中間配当を行う場合は毎年6月30日)
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード市場
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.ibokin.co.jp/ir/notice.html (ただし、電子公告によることができない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ホームページのご案内

詳しい企業情報や財務情報は、
当社ホームページをご覧ください。

イボキン

検索

株主の皆様への
利益還元に関する基本方針

当社は、株主の皆様への安定配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保の充実を勘案して配当を行うことを基本方針としています。株主の皆様への安定配当が実施できるよう今後も努めてまいります。

また、内部留保資金につきましては、企業体質の強化に向けて財務体質の充実を図りながら、当社グループの経営基盤の整備・拡充等に有効活用し、当社グループの競争力及び収益力の向上を図ってまいります。

なお、当社取締役会の決議により、会社法第454条第5項に定める剰余金の配当(中間配当)ができる旨を当社定款に定めていますが、当面は定時株主総会を決定機関とした原則年1回の期末配当のみを行うことを基本方針としています。

	2021年12月期	2022年12月期 (予想)
1株当たり配当金	45.00円	22.50円

(注)2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。2021年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しています。2022年12月期(予想)については、当該株式分割後の配当金の額を記載しています。

BUSINESS
REPORT

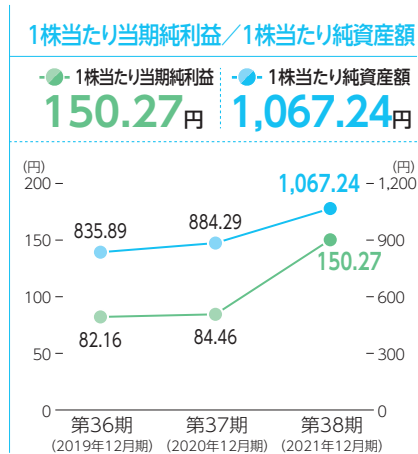
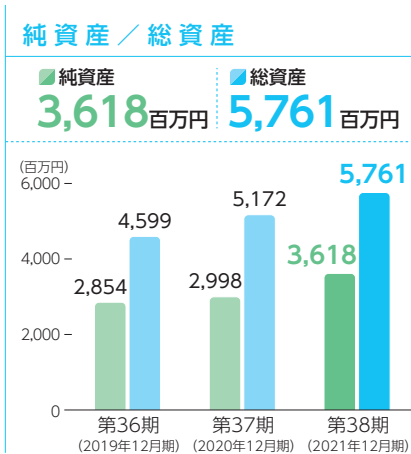
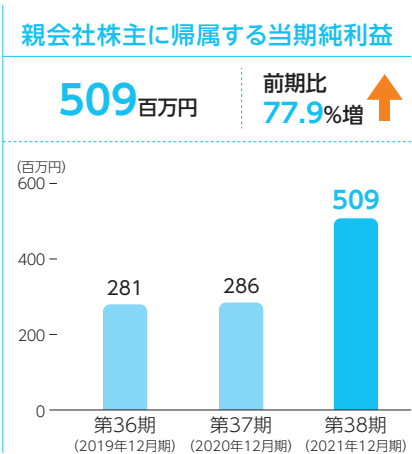
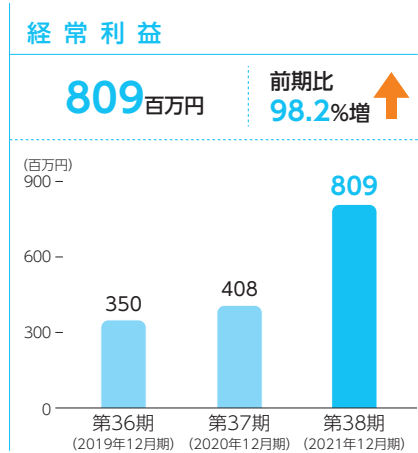
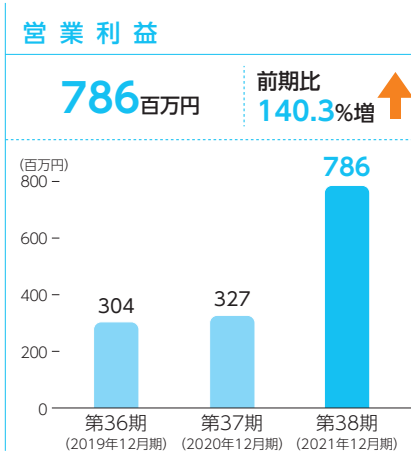
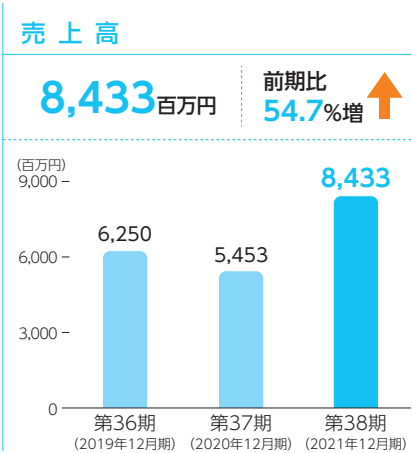
第38期株主通信

2021年1月1日～2021年12月31日

安全・安心な社会と
豊かな自然のために

決算ポイント

解体事業の完工件数は大型工事案件を含め堅調に推移しました。また、資源相場が高止まりしていることから、環境事業の再生資源販売及び金属事業の売上高が伸長しました。



(注) 2022年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。これに伴い、第36期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しています。

資源循環型社会形成のため、「都市鉱山開発企業」として成長・発展してまいります。



代表取締役社長

高橋 克典

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループ事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国は、高度経済成長期以降、生活を豊かにする日用品があふれるほど生産されました。また、インフラや生産設備をはじめとした様々な人工物が建造され、順次更新の時期を迎えつつあります。そしてこれらの中には鉄、銅、アルミニウムなどの金属資源が、天然資源の状態よりもはるかに取り出しやすいかたちで含まれています。このように日本国内には膨大な都市鉱山が存在し、その蓄積量は世界第3位を誇っています。

当社グループは、当社及び連結子会社1社(株式会社国徳工業)で構成されており、解体事業、環境事業、金属事業の3つの事業セグメントを中心として、資源循環型社会形成のため、「都市鉱山開発企業」として成長・発展してまいります。

以前はメーカーなどの動脈産業に比べ、私たちの静脈産業はあくまでも後片付けのような目立たない存在でしたが、

深刻さを増す気候変動問題など、持続可能な社会づくりが世界的なテーマとなった今、私たち静脈産業が担うべき役割は以前にも増して大きくなってきています。

このような社会の変革期にあって、これまでわが国の先人達の努力によって生まれた、かけがえのない財産である都市鉱山を、一時の利益のために使い果たすのではなく、循環させる仕組みを作ることで、しっかりと後世につないでいく姿勢がとても重要だと思います。

当社グループは、持続可能な社会を実現させるために、都市鉱山をどのように活用していくべきかを、より幅広く、より長期的な視点から本気で追求し、社会に発信していきます。そしてその姿勢を鮮明にするため、自らを「都市鉱山開発企業」と称し、この名のもとに力を結集し社会に貢献してまいります。

株主の皆様には、なお一層のご支援をいただきたく、今後ともよろしくお願い申し上げます。

MISSION | 社会課題

持続可能な社会の創造

つくる責任 つかう責任

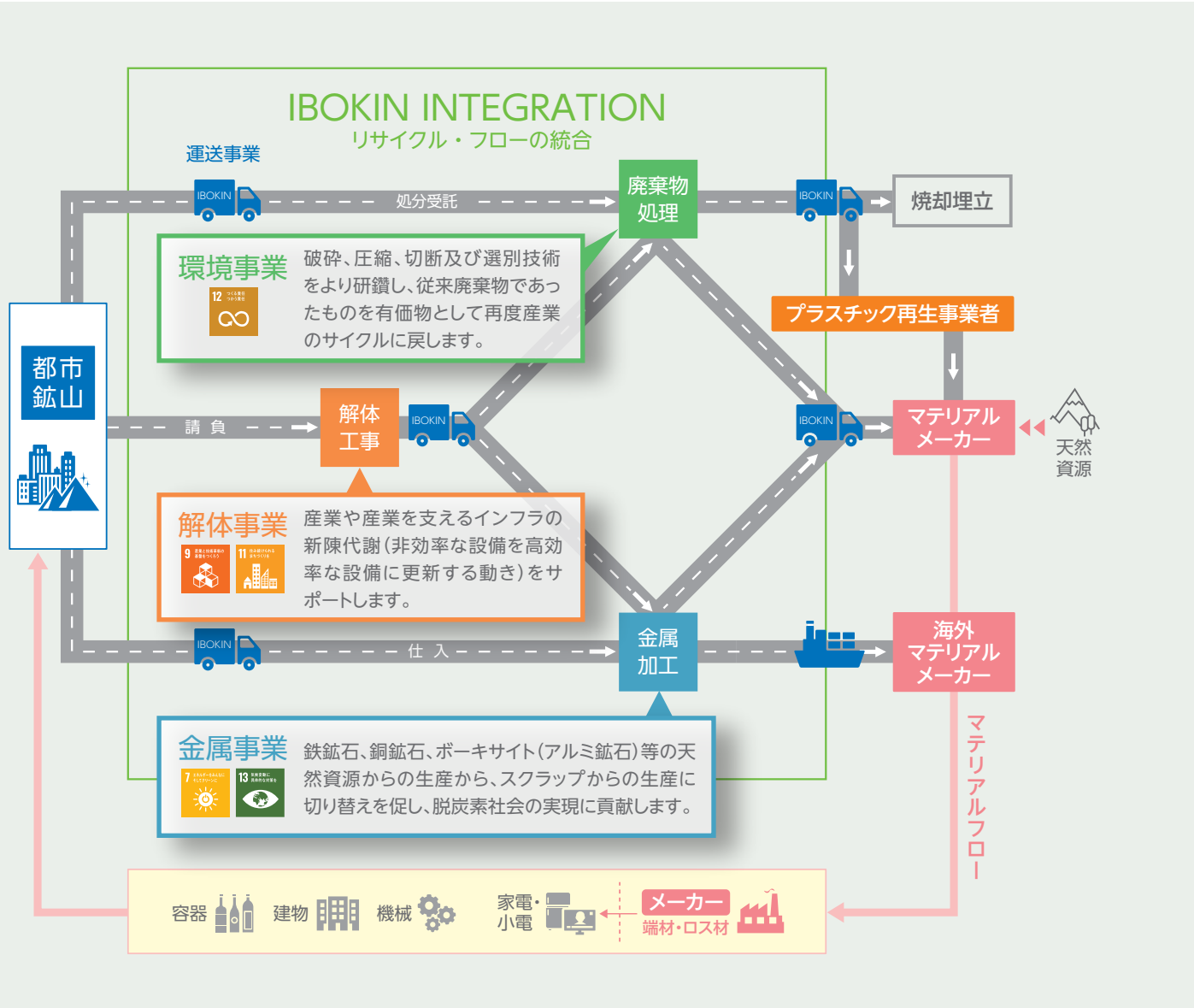
環境問題

気候変動問題

資源リサイクル

IBOKIN

解体事業 環境事業 金属事業



解体事業

売上高 **1,891** 百万円

前期比 **36.7%** 増

売上高構成比 **22.4%**

環境事業

売上高 **1,794** 百万円

前期比 **25.9%** 増

売上高構成比 **21.3%**

金属事業

売上高 **4,747** 百万円

前期比 **79.6%** 増

売上高構成比 **56.3%**

解体工事の需要は堅調に推移し、大型案件14件を含め完工件数は217件となりました。前連結会計年度は新型コロナウイルス蔓延の影響を受け新規受注が一時減少しましたが、当連結会計年度はやや持ち直しの傾向となりつつあります。

これらの結果、売上高は1,891百万円(前期比36.7%増)、営業利益は325百万円(同29.0%増)となりました。受注残高につきましても771百万円と順調に推移しています。

産業廃棄物処理受託の取扱量は24,308トンと前連結会計年度から微増し、再生資源販売の取扱量は14,561トンと堅調に推移しました。前連結会計年度においては、資源価格が低水準で推移したため、再生資源販売が伸び悩みましたが、当連結会計年度においては資源価格が高水準で推移したことで再生資源販売が伸長し、利益率の向上に寄与しました。

これらの結果、売上高は1,794百万円(前期比25.9%増)、営業利益は217百万円(同360.3%増)となりました。

スクラップの取扱量は60,765トンと堅調に推移しました。前連結会計年度においては、鉄スクラップ等の資源価格が一時急落したことで売買差益が減少しましたが、当連結会計年度においては、資源価格が高水準で推移し、また一時急騰したことで売買差益が増加しました。

これらの結果、売上高は4,747百万円(前期比79.6%増)、営業利益は243百万円(同786.4%増)となりました。

イボキンのESG

1 情報セキュリティ・マネジメントシステム(国際認証ISO27001)を取得しました

2021年6月29日にISO27001の認証を取得しました。
情報漏洩やサイバー攻撃などの事件が多発し、情報セキュリティが重要視されている昨今、このISO27001を取得することで社内の総合的な情報管理体制を整備し、会社の信頼性向上につなげてまいり所存です。
今後も、情報セキュリティ基本方針を全社員が認識し、情報セキュリティマネジメントの継続的な運用と改善、向上に努め、お客様からの信頼をより一層高められるよう取り組んでまいります。(適用範囲：PMR工場、本社工場、運輸、環境営業、阪神事業所)



2 「再エネ100宣言 RE Action」に参加しました

2021年10月5日に「再エネ100宣言 RE Action」に参加しました。
当社は、リサイクル事業を通して地球環境の保全に貢献することを使命と考えていますが、事業の遂行に伴って使用するエネルギーについても、より環境に配慮したものに切り替えていく予定です。「再エネ100宣言 RE Action」の枠組みを通じ、2030年末までに、使用電力をすべて再生可能エネルギー由来のものに切り替えることを宣言しました。今後一層、地球環境の保全に貢献してまいります。



3 「健康経営優良法人2021(中小規模法人部門)」に認定されました

2021年3月4日付で「健康経営優良法人2021(中小規模法人部門)」に認定されました。
健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。
今後も、より一層全社員の心と体の健康増進に取り組み、健康経営を推進してまいります。



TOPICS

新市場区分「スタンダード市場」移行に関するお知らせ

当社は、2022年1月11日付にて株式会社東京証券取引所より公表された新市場区分での選択結果のとおり、同年4月4日付をもって「スタンダード市場」に移行することとなりましたので、お知らせいたします。
引き続き、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいりますので、今後ともご支援いただきますようお願いいたします。

会社概要 (2021年12月31日現在)

設立	1984年8月
商号	株式会社イボキン
本社	兵庫県たつの市揖保川町正條379番地
工場・支店	本部ビル、本社工場、龍野工場、阪神事業所、東京支店、福島支店、PMR工場、最終処分場
資本金	130,598千円
従業員数	149名(連結)
事業内容	解体事業、環境事業及び金属事業による総合リサイクル事業
連結子会社	株式会社国徳工業
ホームページアドレス	https://www.ibokin.co.jp/

役員一覧 (2022年3月29日現在)

代表取締役社長	高橋克実
常務取締役	山崎喜博
取締役	高橋守
取締役(社外)	永津洋之
取締役(社外)	橋本法知
常勤監査役(社外)	戸塚いづみ
監査役(社外)	井上利夫
監査役	富高重則

株式の状況 (2021年12月31日現在)

発行可能株式総数.....6,400,000株
発行済株式の総数.....1,713,600株
(注)当社は、2021年11月12日開催の取締役会において、2022年1月1日付で普通株式1株を2株に株式分割することを決議し、あわせて発行可能株式総数について当社定款を変更しました。
これにより、発行可能株式総数は12,800,000株に、発行済株式の総数は3,427,200株となりました。

株主数	1,845名	
大株主(上位10名)		
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
HS興産株式会社	640	37.75
高橋克実	140	8.26
民事信託口 受託者 高橋克実	80	4.72
イボキン従業員持株会	47	2.79
MSCO CUSTOMER SECURITIES	33	1.96
日本証券金融株式会社	27	1.59
川島敏邦	20	1.22
山崎喜博	20	1.18
高橋 守	18	1.06
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	17	1.06

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
2. 自己株式(18,358株)は上記大株主から除外しています。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しています。
4. 2021年12月7日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書NO.2において、高橋克実氏が親族との間で締結していた信託契約(80千株)を2021年11月30日付で解除し、贈与契約(42千株)がなされた旨の記載がされていますが、株主名簿では確認できないため、当事業年度末での状況を記載しています。

